

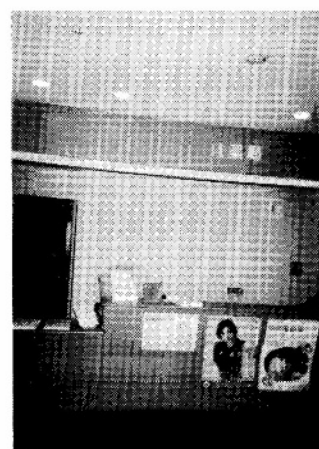
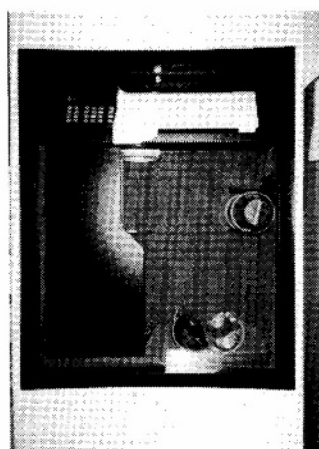
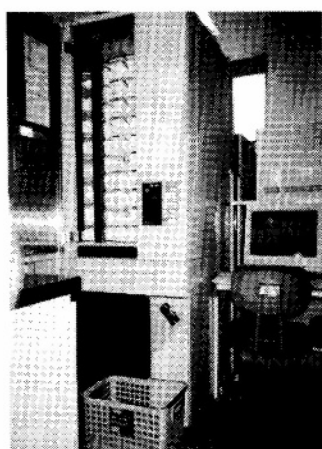
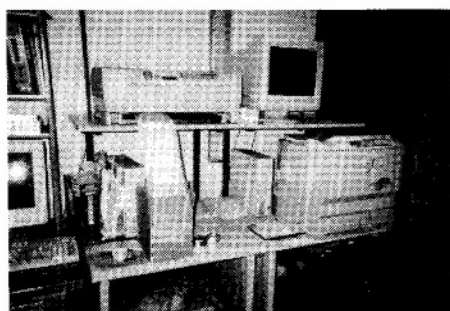
基本方針

- 1、質の高い医療サービスを提供し、患者さんの満足と地域の信頼を得る。
- 2、中核病院として、24時間体制で医療ニーズに応える。
- 3、医療従事者の教育、研修及び臨床研究を通じて、医療水準の向上を図る。
- 4、市民の健康を守るため、関係機関との連携を深め、予防及び保健事業を実施する。
- 5、患者さんが安心できる、生き生きとした職場づくりに努めます。

となっており、男鹿市及び隣接する地域の基幹的役割を担う総合病院となっており、受療率の高い、循環器系の疾患及び新生物に積極的に対応すべく、MRI など各種の最新医療機器が備えられています。

病院は4階建てで、敷地面積20948.84m²、延床面積10936.12m²、1階には薬局、外来、人工透析室、放射線科、検査科、救急センター等があります。2階は医局、事務室、手術室等になっています。3・4階は一般病棟です。病床数は180床で、常勤医は13名で、診療科は内科、精神科、神経内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科など13科あります。1日平均外来患者数は552.3人となっています。

薬剤科は1・2階にまたがっており、1階には調剤室、薬品情報室、薬局長室、2階には製剤室、薬剤管理室があります。スタッフは薬剤師4名、助手1名の計5名です。新病院オープンと同時に、院外処方箋を発行しており、発行率は89～90%、1日平均院外処方



件数は372件となっております。また、同時にオーダリングシステムも稼働し、薬袋や注射調剤におけるラベルの自動印字、自動錠剤分包機による服用時点毎の分包も始まりました。薬品搬送にエアシューターも導入されました。現在、院内調剤する外来処方件数（1日平均）は44件、入院処方件数（1日平均）は94件、注射箋（1日平均）は70件、薬剤管理指導件数（1カ月平均、退院時指導を含む）は54件となっております。

院内に各種委員会も設置されました。薬剤科より薬事委員会、院内感染対策委員会、幹部会議、委託業務委員会、医療事故防止対策委員会、治験委員会にメンバーを出しています。

薬剤管理指導業務は、平成10年12月1日付けで認可されました。当初は戸惑っていましたが、徐々にコツをつかみスムーズに業務をこなしています。スタッフの努力と服薬指導用CD-ROMの導入により少しずつではあるが、件数が伸びております。医師、看護婦との連携もよく、患者にも評判がよく、今後少ないスタッフで、如何にして多くの患者さんに服薬指導を広げてゆくかが課題となっており、同時により質の高い指導を目指したいと思っております。